

の分類手法、および各種のモニターについての一覧表を作り、情報処理に発表する。

(昭和40年9月15日 於 電気試験所出席者11名)
「SCERT について」 (吉村鉄太郎)

計算機の評価のためのシミュレーション・プログラム SCERT (Systems and Computers Evaluation Review Technique) について説明があった。

RCA-301 にあるシステムで、使用する計算機、仕事の種類、ファイルの大きさが構成、使えるプログラミング言語やモニターの性能、スタッフの経験のレベルなどを入力データとして、computer run の数学的モデルを作ってシミュレートし、経費、床面積、計算時間、プログラムのステップ数、記憶装置の使用量、オフライン装置の使用時間、キーパンチの時間、レンタル、人件費などを印刷して出してくれる。プログラムは約3万ステップで、6とおりの機器構成について各100回ずつシミュレートし、1回 SCERT を使うのに2~4時間かかる。さらに次回に Auerbach の EDP report を全員で検討することにした。

この後、multiprogram, time-sharing, real time remote computing などの語の定義について、侃々諤々の論議があったが各社、各機械ごとに違ったニュアンスがあって決定的な定義はできなかった。

関西支部

○関西支部報告

見学会(第1回)

40年7月26日午後1時から約3時間半にわたり、大阪工業会と共催で、武田薬品工業(株)機械計算センターの見学会を行ない、あわせて、同機械計算部長、門川清美氏から「電子計算システムの用法の開発について」の技術講話があった。参加者85名。

システム・ソルビング研究会

〔第1回〕7月28日午後5時30分から、生産性関西地方本部で本年度初の研究会を開き、“Computer and Thought”(editor: A. Feigenbaum and Julium

Feldman) Part 1-section 3 の Realization of a Geometry-Theorem proving Machine (by H. Gelernter) につき論説と討議を行なった。報告者香川一男(京大)、参加者7名。

〔第2回〕8月25日(水)午後5時30分から生産性関西地方本部会議室で開催し、渡部重明氏(阪大経)が Computers and Thought, part 2-section 1 の GPS, A program that simulates human thought (by Allen Newell and H.A. Simon) につき報告した。

会 告

○情報処理月例会

第3火曜日、午後3時 於 船舶振興ビル10階会議室

〔第7回〕日時 40年10月19日(火)

演題(講演) Micro-Programming について

高橋 茂(日立)

〔第8回〕日時 40年11月16日(火)

演題(講演) 国際問題に関する OR の現状

上田尚一(外務省)

EDPS 研究会

日時 40年10月27日(水) 10.00~

場所 電気試験所会議室

議題

1. IBM 360 オペレーティング・システム

渡辺 元(日本 IBM)

2. U-1107 の入出力 岡田猛弘(日本 RR)

3. Auerbach の機械評価(全員)

COBOL 研究会

日時 40年10月27日(水) 10.00~

場所 電気試験所会議室

議題

1. FACOM 230-10 コボル 渡辺昭雄(富士通)

2. NEAC COBOL プログラム例

辻 雄介(日電)

3. COBOL 一覧表(全員)

第6回大会プログラム

日 時 12月2日(木)3日(金) 午前の部 9.30より 午後の部 13.30より

場 所 A 会 場 : 日本電機工業会講堂

B 会 場 : 電気試験所会議室

両会場とも : 東京都千代田区永田町2の1(都電・バス=溜池, 地下鉄=議事堂前, 下車)

講演次第

2日午前の部

会 長 挨拶 [A] (9.30~9.40)

招待講演 [A] (9.40~10.20)

生体における情報処理

南 雲 仁 一 (東 大)

— 休憩 (10.30 再開) —

一般講演 [A] (10.30~12.35)

座長 榎 本 肇 (国際電電)

1. 状態割当てのアルゴリズム

榎本 肇, 市川忠男 (国際電電)

2. 計算機自身にプログラムを作成させる試み

石田喬也, 安井 裕,
杉山 博, 城 憲三 (阪 大)

3. アナログ形モンテカルロ法の概念とその情報処理について

石 桁 正 士 (大阪市大)

4. 手書き片仮名の記号化について

富田真吾, 野口正一, 大泉充郎 (東 北 大)

5. 地図の計数表示

石川甲子男 (国土地理院)

2日午後の部

招待講演 [A] (13.30~14.10)

半導体集積回路の現状

長 船 広 衛 (日 電)

— 休憩 (14.20 再開) —

一般講演 [A] (14.20~17.00)

座長 元岡 達, 井上謙蔵 (東 大)

6. 図形入出力装置とその応用

穂坂 衛, 遠藤 誠, 梶原景範 (東 大)

7. 曲線と曲面の表現と記憶

穂 坂 衛 (東 大)

8. NEAC-2230 電子計算機と低速 A-Dコンバータの結合

高橋 理, 宮崎正俊 (東 北 大)

— 休憩 (15.45 再開) —

9. 一般的な phrase structure language と その構造分析

今津敦志, 元岡 達 (東大), 金山 裕 (日立)

10. linear grammar によって生成される language について

中 村 昭 (日 大)

11. 算法の同値理論からみた言語の記述についての一考察

五 十 嵐 滋 (東 大)

一般講演 [B] (14.20~16.25)

座長 一 松 信 (立 大)

12. 要素が正の行列に対する累乘法解法の誤差評価について

山 本 哲 朗 (広 島 大)

13. 次数を過減しない複素係数代数方程式の解法

鳥居達生(阪大), 吉岡敏彦(山口大)

14. Bairstow の方法について

星 野 聡 (京 大)

15. 最小2乗偏差による関数の直交関数近似について

皆 福 正 彦 (愛知工大)

16. 平方根の計算法について

二 宮 市 三 (名 大)

3日午前の部

招待講演 [A] (9.30~10.10)

東海銀行における為替送金システムについて

前村孝一 (東海銀行)

— 休憩 (10.20 再開) —

一般講演 [A] (10.20~12.00)

座長 浦 昭二 (慶 大)

17. CDC G-20による特許文献情報処理

中西俊男, 伊藤安彦 (国 鉄)

18. GPSS IIを用いた線状自動車交通のシミュレータ

小原啓義, 五味隆志, 小西辰男 (早 大)

19. ネットワーク・プランニングにおける
入力エラーの検出について

高橋 理, 宮崎正俊, 西谷隆義 (東 北 大)

20. ある実時間システムのディスク, ファイル

大野 豊, 浅賀英雄, 関柴四郎 (国 鉄)

3日午後の部

一般講演 [A] (13.30~17.25)

座長 穂坂 衛 (東大), 池野信一 (通研)

21. MARS-102 システムについて

渡辺壽夫, 佐々木敬 (国鉄), 谷 恭彦 (日立)

22. MARS-102 のリアルタイム・プログラム

井上晴雄, 林 義郎 (国 鉄)

安部城一, 杉田 一 (日 立)

23. NEAC-2230 compiler について

馬 籠 良 英 (電 機 大)

24. ALGOL 60における

identifier の identification の一方法

萩原 宏, 山縣敬一, 渡辺勝正 (京 大)

25. Recursive procedure の処理に関する諸問題

萩原 宏, 渡辺勝正, 山縣敬一 (京 大)

— 休憩 (15.45 再開) —

26. 共通プログラム言語しか使わない

電子計算機 FACOM 230-10 について

池田敏雄, 渡辺昭雄 (富 士 通)

27. FACOM 230-10 FORTRAN コンパイラについて

渡辺昭雄, 高野 稔 (富 士 通)

28. FACOM 230-10 COBOL コンパイラについて

渡辺昭雄, 石上孝雄, 村田 晋 (富 士 通)

29. FACOM 241 COBOL コンパイラについて

石上孝雄, 奥田邦夫, 都築貞俊 (富 士 通)

一般講演 [B] (13.30~16.15)

座長 伊理正夫 (東大), 戸田英雄 (電試)

30. 誤差評価能力をもつ Runge-Kutta 公式について
(4th order の場合)

田 中 正 次 (山 梨 大)

31. 常微分方程式の数値解法における
修正式の収束性と安定性について

鳥 居 達 生 (阪 大)

32. 常微分方程式の数値解法における
集積丸め誤差の自己相関係数について

吉 沢 正 (東 大)

— 休憩 (15.00 再開) —

33. 予測子・修正子法による常微分

方程式の数値解に含まれる無縁成分の検出力について

伊 理 正 夫 (東 大)

34. 渦度方程式の風上差分による解について

林 重憲, 立山尚武 (京 大)

35. 出線数が連続量のときアーランB式の微係数の計算法

西 村 綱 子 (通 研)

大会参加賞 500円 (予稿集代金を含む)

懇 親 会 12月3日 17.30 日本電機工業会食堂 会費 1,000円